

### [運転準備]

設置する際は必ず平坦な場所に設置し、前輪にストッパーをかけ、必要に応じて車止めをしてください。

### ↑危険

屋外での使用の場合、雨天時は必ずファン及びミストを停止させ、コンセントを抜き、屋内に入れてください。感電、漏電の恐れがあります。

子供が本機に触れることがないように、また事故防止のため、運転中は本機から1m以内の範囲に人が立ち入らないようにしてください。

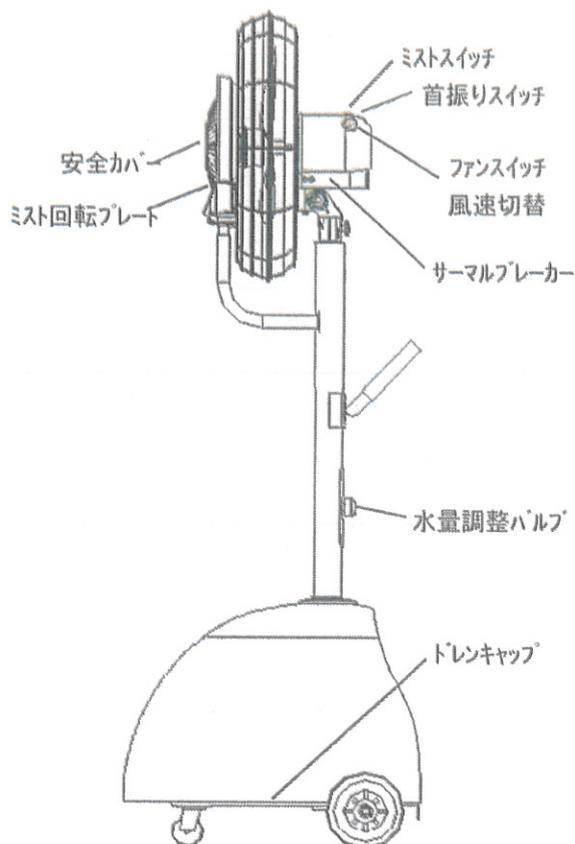
強風時は転倒の恐れがありますので、本機を使用しないでください。

水タンクに、水を入れます。方法は2通りあります。

### ▲注意

運転中に水タンクが空にならないように常に注意してください。水中ポンプの故障の原因となります。

1. 水道直結 タンクの裏の給水口タケノコにφ15水道ホース(お客様でご用意ください)を差し込み、付属のホースバンドで止めます。水道の蛇口を開け、水を入れます。
2. 水タンクに直接水を入れる方法 水タンクのふたを開け、直接水を入れてください。
3. コンセントプラグをAC100Vに差し込んでください。50/60Hz共用です。緑色のアース線をアースへ接続してください。
4. 薬液等を使用する場合は、ミスト回転プレート材質(ABS樹脂)を侵さない薬液とその濃度を選定してください。



### [運転方法]

ファンモーター部分に3つのスイッチがあります。

#### 1. ファン風速切り替えスイッチ

時計回りに0(停止)→1(弱)→2(中)→3(強)の順で変化します。

#### 2. ミストon-offスイッチ

#### 3. 首振りon-offスイッチ

※ 2.ミストon-offスイッチと3.首振りon-offスイッチは1.風速切り替えスイッチでファンが回っているときのみ動作します。

マストの裏にある水量調整バルブで噴霧量を無段階に調整できます。

とくに60Hzで運転する場合、床がぬれたり、水滴が飛ぶ場合があります。その場合は水量調節バルブを絞る方向で調節してください。

ファン正面・背面グリル(ガード)の中へ指を入れないでください。また正面・背面グリル(ガード)を外して運転しないでください。回転する羽根部でケガをする恐れがあります。

またミストプレート・安全カバー(ガード)の中へ指を入れないでください。また安全カバー(ガード)を外して運転しないでください。回転するミストプレート部でケガをする恐れがあります。

屋外での使用の場合、雨天時は必ずファン及びミストを停止させ、コンセントを抜き、屋内に入れてください。感電、漏電の恐れがあります。

### 使用後の取り扱い

停止するときは風速切り替えスイッチを0(停止)に回します。

水道の元栓を閉じてください。

水タンクから水を抜いてください。水タンクの中に手を入れ、底部にあるドレンキャップを反時計回りに回して外すと水抜きが出来ます。

普段のご使用前には水タンク内の水を抜き、新しい水道水を入れてご使用ください。

水タンク内に残ったまま1日以上放置すると水タンク内の水質が悪化している可能性があります。

使用しない時は屋内で保管してください。本機が雨に濡れたまま使用すると漏電・感電する恐れがあります。

| 風速切り替えスイッチ |                        | 1(弱) | 2(中) | 3(強) |
|------------|------------------------|------|------|------|
| 50Hz       | 回転数min <sup>-1</sup>   | 1310 | 1340 | 1380 |
|            | 風量 m <sup>3</sup> /min | 約102 | 約110 | 約120 |
| 60Hz       | 回転数min <sup>-1</sup>   | 1240 | 1460 | 1550 |
|            | 風量 m <sup>3</sup> /min | 約95  | 約123 | 約135 |

### ▲注意

### ▲注意

[保守、点検について]



本機の保守・点検を行う場合は本機のスイッチを「切」にしてさらにコンセントを抜いてから作業を行ってください。

1. 水タンクの清掃

水タンクは常に清潔を保つよう定期的に清掃してください。清掃する際は水中ポンプを水タンクから取り外してください。

2. 電装関係の点検

(1) キャブタイヤコード、コンセント、本機各部の端子に緩みがないか点検してください。

(2) モータ、コンセントなどが水にぬれた場合、十分に乾燥させ絶縁抵抗をチェックしてください。

(3) モータが吸湿してそうなときは絶縁抵抗が規定値以上あるかどうかチェックしてください。500Vメガテスタにて1MΩ以上が必要です。

3. 付属品の点検

キャブタイヤコード、ミストチューブなどに摩耗、破損、水漏れがないか点検してください。異常がある場合は、ただちに修理、交換してください。

4. サーマルブレーカーはポンプが過負荷になった場合や、電源に異常がある場合などで保護装置として作動します。3分ほどで温度が下がりますので作動原因を取り除き、ボタンが飛び出している場合押しして復帰させてください。

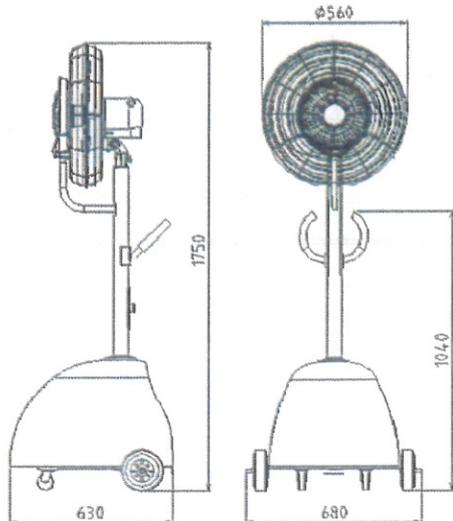
5. 輸送時などファンヘッドを取り外す際は本機のスイッチを「切」にして、ファン正面のホースコネクタ(青)と(黒)、さらに組立手順2のポンプケーブルコネクタを取り外し、ファンヘッドを上方に引き抜きます。



ポンプケーブルコネクタ

φ8ホースコネクタ 黒  
φ8ホースコネクタ 青

仕様



重要ラベル

警告表示は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。

・安全銘板の購入は、最寄りの販売店にお申し付けください。

②04000928



①04000912

③04000969



| 型式                     | 電圧     | 乾燥重量 | 噴霧量      | 水タンク容量 |
|------------------------|--------|------|----------|--------|
| SFC-104<br>(50/60Hz共用) | AC100V | 28kg | 2.8 L/hr | 約20L   |
|                        |        |      | 4.6 L/hr |        |